

令和6年第1回木津川市議会定例会（3月7日）

一般質問通告書

1	玉川 実二
	質問事項： 人口ビジョン及び総合戦略の推進を問う
質問 要 旨	混沌とする社会において、旧態依然の考え方や、やり方を踏襲するのではなく、現在の課題に加え、将来を見据えた市政運営を行うことが求められています。 本市では、次期5年間における総合計画及び総合戦略を策定し、且つ実行に繋げる重要な時期であり、正に市政運営の行動指針ともいえる行政のパラダイムシフトにより、市政運営を積極的に推進すべきであります。 そのことを申し上げ、『木津川市デジタル田園都市構想総合戦略（中間案）』について、いくつかお尋ねいたします。 （1） 人口ビジョン及び総合戦略について （本編 P a g e 1 ～ 3） ① 人口増加、合計特殊出生率向上に向けた具体的な政策は何か。 ② 自然動態、社会動態、それぞれの代表的な対策について、お尋ねいたします。 ③ 目指すべき合計特殊出生率目標は、人口置換水準であるべきと考えるがどうか。 （2） 5つの基本目標全般について （概要版） ① 基本目標1～5の数値目標（ほとんどがK P I）の設定根拠（エビデンス）は何か。 ② 基本目標1～5の数値目標が達成された結果、どのようなベネフィットを期待するのか。
	質問事項： 令和6年度施政方針を問う
質問 要 旨	令和6年度主要事業の推進に際してのガイドラインともいえる施政方針であります。全般的に総花的でプライオリティー（優先度）や重点プロジェクトの内容、費用対効果などが少し分かりづらいと思います。 本市ならではの独自性のある、創造的な、魅力的な施政になるよう期待をし、その上でいくつかお尋ねいたします。 （1） 市政運営の基本的な考え方 （P a g e 2 ～ 3） ① 「木津川市にとって本当に良い施策なのか、全てはその基準において決断」とあるが、具体的にはどういうことか。 ② プレ若者会議において、「将来に向けての経済的な不安が大きい」とあるが、何人からのご意見なのか。 ③ 「必要な取組や対応が遅れてしまうこと、漏れてしまうことを避ける」とあるが、必要な取組の具体的な基準は。 （2） 令和6年度予算案 （P a g e 3 ～ 4） ① 「自治体のパラダイムシフトにつながる戦略的な改革を着実に進める」との記述があるが、戦略的な改革とは何か。 ② 「財源確保と効果的かつ効率的な予算執行に努める」とあるが、特に財源確保の方策についてお尋ねいたします。 （3） 令和6年度主要施策 （P a g e 5 ～） ① 日本の生産性が悪い理由の一つは「デジタル化の遅れ」である。保育業務 I C T 化の効果は、どの程度あるのか。 ② 全中学校体育館に空調を整備することであるが、小学校の計画はどうか。D B O など民間手法は取り入れるのか。 ③ 学力は、全国平均より上。家庭での学習習慣も大きな課題があるとは聞いていない。グローバル教育をもっと推進すべきでは。

2 草水 基成	
質問事項： 安心して相談できる環境を求めて	
質問 要 旨	子どもの貧困や虐待など社会的な課題に対し、関係部局や関係機関等が連携し総合的に取り組んで、困難を抱える親や子どもを早期に発見し、プッシュ型の予防的な支援で誰一人取り残さない支援の仕組の構築を求め、次の点について伺います。 (1) こども家庭センターは、ヤングケアラーや虐待、貧困など、問題を抱える家庭に対するサポートプランの作成や、家庭を訪問し家事や育児の援助などが想定されています。本市は4月1日からの「こども家庭センター」の取組の方針や対策などについて、どのように考えているのか。 (2) 発達支援は、早期発見が必要とされています。健診や保育園等で先生からのアドバイスを受け、障害受容ができず不安を抱く保護者等がいます。就学相談での発達検査結果などの取り扱いや移行支援シートなど、対象者数と利用率の状況は。
質問事項： 学校と地域社会の関わり方	
質問 要 旨	子どもたちが様々な人との関わりや経験を通じて、心豊かにたくましく成長し、将来を生き抜いていくために、地域全体で子どもの教育を支えていくことが求められており、次の点について伺います。 (1) 京都市では幅広く意見を募るために、学識経験者や保護者、スポーツ団体、文化芸術団体、中学校の関係者ら17人を委員として構成する検討協議会を設置し1月に初会合を行い、教員、生徒を対象にした部活に関するアンケート結果を報告するなど来年度中に地域移行に関する方針の策定を目指すようです。 本市では、現在、従来型の部活指導に部活動指導員を取り入れながら地域移行について考える方針のようですが、今後の地域移行までのプロセスをお聞かせください。
質問事項： 答弁された事のその後について	
質問 要 旨	以前質問した事柄について本市の姿勢・進捗状況を伺います。 (1) 精神疾患が疑われたり、家族や地域との関わりが希薄で、心の寂しさを埋めるために動物を飼い、どんどん数を増やしてしまったりするケースもあり、医療、介護、福祉など社会福祉施策と連携した対応が必要不可欠であると考えます。多頭飼育崩壊に対する取組の進捗状況と今後の対応についての考えは。 (2) 府県境施設の多数の犬の徘徊対応や、近く新施設の稼働を予定されていると聞く。今後の水質への影響が懸念されることなど、これまでの進捗状況と今後の対応についての考えは。

3 森本 隆	
質問事項： 介護保険事業は持続可能な政策か	
質問 要 旨	本市の高齢化率は、令和5年9月末現在、25.1%と全国・府平均より低いが、州見台、梅美台及び城山台などの一部の市街地を除き高齢化が進んでおり、高齢化が一段と進行している地区がみられます。 高齢者が、生涯健康で幸せに暮らし、介護が必要な状態となっても、尊厳を保持しながら暮らし続けるためには、自立した生活の支援と重度化防止など、高齢者介護を支える仕組みづくりが必要です。本市では、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる令和7年に向けて、介護・医療・予防・住まい・生活支援が包括的に提供される地域包括ケアシステムの構築や取組を市は進めてきました。高齢者を取り巻くこのような環境と地域課題の多様化を見据えて、高齢者施策のさらなる推進と介護保険制度の持続可能性を確保していく取組が重要だと考えます。 以上の背景のもと、第9期木津川市介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）が令和6年2月に作成されました。 本市の介護事業計画の課題について以下の内容を問う。 (1) 高齢者介護が施設介護から在宅介護サービス中心に移行する中、在宅サービス体制の現状の課題と市の取組は。

質問要旨	(2) 地域包括ケアシステムの推進には、介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進が必要と考えるが、現状の課題と今後の取組は。 (3) 今後の居宅要介護者の在宅サービスを支えるためには、訪問医療体制の構築が必要だと考えるが、現状の課題と今後の取組は。 (4) 高齢者が増加する中、今後3年間、介護保険料据え置き理由と今後の見込みは。
質問事項： 行財政改革を問う	
質問要旨	令和6年度一般会計予算では、新規事業の増加、人件費と扶助費の増加により、財政調整基金から過去最大の17億円の繰入れ等、基金繰入を行っている。 市の今後の財政見通し、行財政改革の取組について、以下の内容を問う。 (1) 市の中期的な財政見通しは。 (2) 公共施設等総合管理計画の進捗状況は。 (3) 収入増のための取組、ふるさと納税の具体的な取り組みは。 (4) ICT推進による業務効率改善の成果と市職員の定員適正化計画、会計年度任用職員数への影響は。 (5) 今後のICT推進体制は。

4 小見山 正	
質問事項： 介護予防施策について	
質問要旨	施政方針に掲げられている『誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり』に関連して、市の介護予防施策について質問する。 『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』では、地域での活動等への参加状況の項目で「体を動かす」活動に参加する人は、34.7%と最多で、需要の高さがうかがわれる。 体を動かすことは、介護予防に効果があり、市の一般介護予防事業の「元気もりもりクラブ」などで事業化されている。 より多くの高齢者が参加しやすくなるように、市内の各集会所など身近な場所での開催を後押しすべきではないか。 また、施政方針で保険給付費の増加に言及がある。サービスの充実と財政的な持続可能性を両立するためには、住民の主体的参加が必要であるように思う。そこで、開催主体としてボランティアが活動しやすくなるように支援すべきではないか。 (1) これにあてはまる事業として、総合事業通所型サービスBというものがあるが、本市では実施していない。なぜか。 (2) 総合事業通所型サービスBを実施すれば、地域のコミュニティ作りと高齢者の運動機能の維持という重要な効果を同時に実現できる。また、実施方法は費用の補助なので、市の負担を抑えられる施策である。そこで、実施すべきと考えるが、どうか。 (3) 実施する上での課題は何か。
質問事項： 公共施設の拡充と利用の促進について	
質問要旨	生涯学習や、スポーツ活動推進のための施設を充実してほしいとの市民の声を聞く。 (1) 社会人や、生徒が平日に練習するのであれば、その時間帯は、夜間になる。照明設備があるグラウンドで貸し出しをしているところは、南加茂台小学校と棚倉小学校のみと聞く。 市民の自発的な活動を後押しするためには、①活動場所の拡充と②既存施設の利用しやすい仕組みが必要であると思うが、どうか。 (2) また、あじさいホールでは、予約が4日前までという運用となっている。施設の利用をしやすくするために、運用を改善することはできないか。

令和6年第1回木津川市議会定例会（3月8日）

一般質問通告書

1 大角 久典	
質問事項： 能登半島地震を受けて問う	
質問 要 旨	能登半島地震では多くの方がお亡くなりになられるとともに、被災されました。改めましてお悔やみ申し上げますとお見舞いを申し上げます。さて、近年は地球温暖化による甚大な災害が起こっております。また、南海トラフ地震がいつ起こってもおかしくありません。そこで市長も重要な施策として「災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり」を掲げております。そこで以下の内容についてお聞きします。 (1) 自走式トイレカーの購入の経緯や目的は。 (2) 木造住宅本格耐震改修事業補助金制度の対象数や効果は。 (3) 防災士になられた方への取組は。 (4) 昨年初めて実施した中学生を対象としたジュニア防災リーダーの育成の目的と期待は。 (5) 総合防災マップの改訂のポイントは。
質問事項： 動物愛護と適正な管理について問う	
質問 要 旨	「快適で住みよい生活環境と豊かな自然に恵まれたまちづくり」の中で動物愛護と適正な管理を行うため、新規施策として市内で捕獲した野良猫に獣医師による不妊・去勢手術を受けさせた市民に手術費用の一部を助成する制度を3年間の時限措置で実施されるが、以下の内容についてお聞きします。 (1) 上限5,000円の根拠は。 (2) 3年間の時限措置とした理由は。 (3) 超音波式猫よけ器の貸出制度の目的と期待する効果は。
質問事項： 効果的・効率的な行政運営について問う	
質問 要 旨	基本方針7「効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり」について以下の内容をお聞きします。 (1) 「木津川市デジタル田園都市構想総合戦略」の基本目標にある「誰もが便利で快適に暮らせるデジタル基盤を整備し、市民サービスの向上」として「書かない窓口」が令和3年度に導入されました。 6年度は、その「書かない窓口」を庁内での横展開を行うとあるが、その具体的内容として「行かない窓口」の内容は。また、「書かない窓口」と「行かない窓口」の関係は。 (2) 持続可能な財政基盤の確保を目的として、ふるさと納税の取組強化を掲げています。 個人版ふるさと納税で2億円、企業版で2,000万円とあるが、前年度の1億円の目標は達成されたと聞いています。そこで、6年度の目標を倍にされた理由と取組内容をお聞かせください。

2 西山 幸千子	
質問事項： 大規模災害時の対応を	
質問 要 旨	今年は新年早々能登半島で最大震度7の地震が起こりました。能登独特の地形が影響して被害も大きく、いまだに日常生活に戻ることができない地域が多数存在します。必ず災害があると考えた上で、その後いかに早く救助できるか、復旧できるかを考える必要があります。 (1) 避難所 これまでに請願が2度も採択されており、設置計画は遅すぎるほどですが、市内の中学校の体育館へのエアコン設置を市長が表明しました。災害時に大勢の人が避難所として利用する小中学校の体育館で、エアコンなど空調設備は必須です。一刻も早く小学校への設置も計画するべきです。

質問要旨	避難が長期化した場合に、食べること・排泄すること・寝ることが体調を維持する上でも大切です。高齢者・乳幼児・妊産婦向けの食料品や日用品の備蓄が必要ではないですか。 今回の地震でもトイレが使えなくて苦勞されたようです。避難所のトイレのバリアフリー化は充分ですか。生理用品やオムツ（介護用も）の備蓄は十分ですか。 市が段ボールベッドとテントを購入していますが、寝る時などにプライバシー・プライベート空間を守るための間仕切りも積極的に準備してください。 (2) 水の確保 能登地震ではいまだに水道の復旧が進んでいません。災害時には自己水が重要です。災害応急用井戸の指定や活用を積極的に取り入れてください。 (3) 避難の長期化 避難が長期化する場合は速やかに広域避難を進めますが、事情により一時避難を続けざるを得ない場合に、障がい者や要介護者への対応をどうしますか。 (4) 消防団 災害時には消防団がいろんな場面で力を発揮しています。よりスムーズな活動のために、以前指摘した施設面での老朽化や不備などの改善は進みましたか。
質問事項： 赤田川の汚れ	
質問要旨	加茂町を流れる赤田川はいつ見ても細かな泡が流れています。市内には大小の河川が流れていますが、他の河川では見られないものです。 (1) 赤田川の水質改善は進んでいますか。上流に位置する養豚業者が事業の拡大をしようとしています。水質への影響があるのではないですか。 (2) 養豚業者が市道を取り込んで衛生管理区域を設定しました。本来なら、そのような形で衛生管理区域を設定してはならないものですが、奈良県畜産課が例外を認めたことが理由です。市道の利用許可はどのようになっていますか。 (3) 浄瑠璃寺近辺で養豚場から逃げ出した犬の徘徊が見受けられます。市としての対応はどうなっていますか。

3 堤 征一郎	
質問事項： 城山台の交通事故防止に対する市の取組について	
質問要旨	城山台の人口は1月時点で10,273人と令和4年に1万人を超えて以降、更に増え続けています。人口増加に伴い交通事故件数は増加傾向にあり、早急にその対策が必要です。 そこで城山台の交通事故対策について以下の通り質問いたします。 (1) 過去5年間の城山台における人身事故の件数は何件か。 そのうち交差点での事故は何件か。 (2) 地域から交通事故防止に関する要望は過去に出されているのか。 また、どのような内容か。 (3) 城山台の人身事故を防ぐために市としてどのような取組がなされているのか。 (4) 城山台の交通事故防止について、市はどのような内容の要望を公安委員会や木津警察署に出しているのか。
質問事項： 改正動物愛護管理法を踏まえた市の取組について	
質問要旨	令和2年に改正された動物愛護管理法が令和4年6月に完全施行されました。本市においても令和6年度の予算において、野良猫に対する手術費用の助成を計上するなど動物愛護と適正管理について意欲的な姿勢がうかがえます。 そこで、動物愛護管理の観点から以下の点について質問いたします。 (1) 動物愛護法の施行に伴い、上記以外に動物愛護管理に対する取組を進めていく予定はあるのか。 (2) 京都府下で殺処分になった犬や猫の件数と、その減少に向けてどのように取り組んでいるのか。 (3) 努力目標となっている動物愛護管理担当職員は配置されているのか。

質問事項： 市の広報活動について	
質問 要 旨	本市を含め、全国の市町村は住民への情報発信のためホームページを含む広報活動に力を入れています。 そこで、広報活動の取組について以下の点について質問いたします。 (1) ホームページの見やすさについて、どの程度の頻度で見直しをしているのか。 また、市民からどのような感想が届いているのか。 (2) J R 木津駅のコンコースに市の広報板が設置されている。掲載されていない広報板が目立つが、この状態をどのように認識しているのか。

4 山崎 光祐	
質問事項： 来年度の公立中学校教員の働き方改革の具体的な取組について	
質問 要 旨	前回の定例会において、4月からの新年度に向けた公立中学校の教員の働き方改革についてお尋ねをいたしました。基本的にはこれまでの取組を踏襲しつつ、より一層の改善を進めていくということだったと思います。 今日の学校教育現場には、私の子供時代とは全く違う多様な課題が山積していると感じております。したがって、先生方が子供たちの健全育成に全力で取り組めるような、時間と心に余裕が持てるような環境整備を、行政の皆さんには行っていただきたいと思っています。 さて、間もなく来年度（令和6年度）がやって参ります。そこで今回は持続可能な教員の働き方改革という観点から、以下の3点、お尋ねを致します。 (1) 来年度の公立中学校教員の働き方改革の具体的な取組として、これまでは基本的に毎日実施されていた朝の読書や掃除の回数を減らすことで、放課後時間にゆとりを持たす、というように伺っております。 この取組について、事実関係を含めて具体的にご説明をお願いします。またこれによって、どの程度の時間短縮ができるのか、またメリット、デメリットについてご考察があれば教えてください。 (2) カリキュラム上の先生方のご負担として、「総合的な学習の時間」というのがあり、そのための準備が相当に大変であるように聞いております。 まず、この「総合的な学習の時間」とはどのようなものなのか、週に何コマあるのか教えてください。また、各校の「総合的な学習の時間」の内容とそれにかかる準備時間等は、教育委員会として把握されているのかどうか教えてください。 (3) 最初の質問に関連しますが、カリキュラムを削減して時間にゆとりを持たすという方針だと理解をいたしますが、各学校の来年度の放課後時間の使い方について、きちんと整理した計画を立てられていますでしょうか。具体的な事例があれば挙げていただければ幸いです。
質問事項： グラウンド不足について	
質問 要 旨	今後、部活動の地域移行に伴い、地域での活動の受け皿づくりは急務だといえます。しかし、せっかく受け皿ができたとしても木津川市内では活動場所がかなり限定的ではないかと思われます。たとえば、夜間照明のあるグラウンドは、現在、南加茂台小学校、棚倉小学校、木津中学校に限られています。しかも、木津中学校は現状では一般の方への貸出はされていないと聞いております。日照時間の長い時季はあまり問題ないかと思いますが、冬季などは活動時間がかなり制限されてしまいます。また、木津川市内には市のホームページによりますと、各学校のグラウンド・体育館以外にも13か所のスポーツ施設がありますが、使用目的が限定される施設も多く、多様な競技に対応しきれていないと感じます。更に、これは本市だけの問題ではないかもしれませんが、土曜日や日曜日は施設の取り扱いとなり、現状では安定した活動も難しいのではないかと思います。照明設備の設置により夜間に使用できる施設が増えることで、週末の施設利用状況も緩和されるのではないかと考えます。 そこで、以下2点、お尋ねを致します。

質 問 要 旨	(1) 近年、照明設備は水銀灯からＬＥＤになり、設置の自由度が上がるなど運用経費の負担が減っているのではないかと考えますが、今後、既存のグラウンドへ新たに照明設備を設置する計画などのお考えはありますか。 (2) これは本市の経済活性化にもつながる提案だと思いますが、市民が一つに集えるような総合型スポーツ施設を計画していく計画やお考えはございますか。どのような施設かと申しますと個人的には、近隣ですと城陽市の鴻巣山運動公園や京田辺市の田辺公園などをイメージしております。
------------------	---

令和6年第1回木津川市議会定例会（3月11日）

一般質問通告書

1 野田 えり	
質問事項： 中学校の歴史・公民の教科書採択について	
質問 要 旨	令和6年度は4年に一度の中学校教科用図書の採択の年です。当然のことながら、教科書は生徒たちの学習に大きな影響を与えます。 そこでお尋ねします。 (1) 本市に教科書が届いてから、採択に至るまでの経緯はどのようになっていますか。 (2) どのような基準で教科書を採択していますか。 (3) 教育長の教育理念をお聞かせ下さい。
質問事項： 地球温暖化対策の費用対効果は	
質問 要 旨	現在、世界では地球温暖化対策として脱炭素に舵を切っています。 世界の二酸化炭素濃度がこの150年で1.5倍となったこと、世界の平均気温がこの150年で約1℃上昇したこと、二酸化炭素には『温室効果』がある程度あることは、データから確認できる事実です。 本市でも、令和4年3月29日に木津川市気候非常事態・ゼロカーボンシティ宣言、令和6年2月1日に木津川市デコ活宣言が行われました。 また、木津川市地球温暖化対策実行計画区域施策編(案)が発表され、本年2月1日～3月1日までパブリックコメントが実施されました。 そこでお尋ねします。 (1) 地球が温暖化することによって、具体的に何が問題ですか。 (2) 本市の計画では、温室効果ガスを2030年度に2013年度比で46%削減の目標を掲げていますが、それに伴う予算の目安はありますか。 (3) 2050年までにゼロカーボンを目指すとして、2020年からの30年で何トンの温室効果ガスが減りますか。 (4) 太陽光パネルのメリット・デメリットは。 (5) 電気自動車のメリット・デメリットは。

2 山本 しのぶ	
質問事項： 能登半島地震を教訓に、大規模災害に備えよ	
質問 要 旨	能登半島地震により、住宅やライフラインに大きな被害が出て、被災者の避難所生活が続いています。初動段階においては、被害の情報収集が遅れたことから国や県の対応が遅れてしまっています。被災した当事者である市町では、職員も被災しており、住民の安否確認や支援ニーズの確認もままならないパニック状態にありました。 大規模災害時には、行政機能は著しく低下し、市の職員だけで業務を行うことが困難になります。「災害時受援計画」の策定は、被災地側の受け入れ体制を整え、応援職員やボランティアを適切に配置し、届いた物資を住民のニーズに合わせて支給、避難所での健康管理のための保健師を確保することや、罹災証明の迅速な発行手続きの応援職員確保等が必要です。しかし、本市は受援マニュアルがHPで公表されていません。また「災害時廃棄物処理計画」は未策定です。 さらに、災害時に住民の命と財産を守ってくれる重要な公共機関である消防出張所の統合整備について、地元の市長として市民と向き合い誠実な説明を行っていません。そこで、お聞きします。 (1) 市周辺にある活断層の位置を知らせることは、市民の防災意識を高めるために必要だと考えます。市周辺には、どんな活断層がありますか。また「木津川市総合防災マップ」に断層位置図を載せるべきでは。

質問 要 旨	(2) 「災害時受援計画」とは、発災時に行政機関や各種団体からの人的・物的支援を円滑に受け入れるために必要な計画です。また、「受援シート」とは、災害時に必要となる物資や業務、必要人員を具体的に記入したシートです。「災害時受援計画」と「受援シート」を策定する重要性を認識していますか。 (3) 市の「受援マニュアル」を公表すれば、どのような支援が、どの時期に行われるかが分かり、市民は安心感が高まるとともに災害時に的確な行動がとれます。「受援マニュアル」を公表しないのはなぜですか。 (4) 石川県珠洲市では132年分の災害廃棄物が出るとの推計が発表されました。災害時廃棄物を迅速かつ適正に処理し、早期に復旧・復興を進めるための「災害廃棄物処理計画」の策定と仮置場の選定を急ぐべきではありませんか。 (5) 能登半島地震への職員派遣について、支援内容と現地で学んだ教訓について報告を求めます。また、その内容について市のHPで市民にも報告すべきでは。 (6) 市長は、施政方針に、誠実な心の通ったクリーンな行動を政治信条としていると、述べられています。住民が不安に感じている消防出張所の統合整備に関して、再度、住民が納得いくまで説明をする方が良いと思いますが、市長の考えは。 (7) 全国の首長の災害危機管理対応力向上のために、令和5年6月に開催された消防庁主催の「全国防災・危機管理トップセミナー」、並びに令和6年2月に開催された「京都府防災・危機管理トップセミナー」に、市長は出席しましたか。 (8) マンホールトイレ、かまどベンチや井戸を公園に設置する考えは。これらは、避難所を利用せずに車中泊等で公園に避難する住民に必要です。国土交通省もマンホールトイレの設置を推進しガイドラインを策定しています。
質問事項： 安全で良質な水を適正価格で住民に	
質問 要 旨	現在、京都府営水道事業経営審議会にて、水道料金、広域化・広域連携、官民連携、水質等について審議されています。令和5年末に、これらについて各受水市町の意見を聞くヒアリング調査も行われました。令和6年度末には、府営水の次期料金や建設負担水量、広域化・広域連携等について審議会から知事に答申を提出するスケジュールになっています。そこで、本市がどのような意見を府に伝えたのかお聞きします。 (1) 府営水の次期料金について。 (2) 施設整備方針について。 (3) 広域化・広域連携について。 (4) 官民連携について。 (5) 建設負担水量について。 (6) その他、健康被害が懸念される有機フッ素化合物PFASが各地で検出されてニュースになっています。本市における検出状況と市の認識、また、府とどのような情報共有を行っているのか、お聞かせください。

3 谷口 英子	
質問事項： 木津川市内の通学路の安全をもっと確実なものにしていこう	
質問 要 旨	昨年11月初旬、加茂町の通学路において痛ましい交通死亡事故が発生してしまったことは周知のとおりです。12月議会でも質問致しましたが、その後の見守り体制がどうなったのか等について聞きたいと思います。 (1) 事故のあった加茂地域において、新たな見守り体制が構築されましたか。 (2) 市内の通学路の安全確保のため、今後どのように取り組まれますか。

質問事項： みんなの公園をみんなで創り上げよう	
質問 要 旨	先日「第2次木津川市総合計画後期基本計画」のために住民アンケートが実施されました。その結果によれば「全体的にみた木津川市の暮らしやすさ」に64.1%の市民が「ほぼ満足」「満足」であるとされました。しかし、公園や子どもの遊び場については「どちらともいえない」「やや不満」「不満」を合計すると58.3%にも上っており、市内の公園には課題があることが伺えます。これからの公園の在り方について質問します。 (1) 市は市民の要望をどのように把握されていますか。 (2) 市内の公園にはどんな課題がありますか。 (3) 市民と共に公園管理などを行っていくうえでどんな方法がありますか。 (4) 障がいがあっても無くても楽しめる公園の整備に取り組めますか。
質問事項： 木津川市の文化財行政は適切かー残念石の活用について	
質問 要 旨	「大坂城再建で使われなかった「残念石」、400年経て大阪・関西万博でトイレの柱に」「万博施設柱に残念石 物議」。これは読売新聞と京都新聞の見出しです。テレビ報道もありました。「大坂城 石垣用『残念石』万博トイレに」これはANNのニュースです。加茂に住む市民として恥ずかしく悲しい思いでいっぱいです。木津川市の文化財に対する姿勢に疑問が膨らみます。 そこで、以下質問いたします。 (1) 今回の残念石の万博移設許可に至った経緯を説明してください。 (2) NPO「ふるさと案内かも」による、これまでの残念石保存運動についてどのようにお考えですか。 (3) 市は残念石及び大野山石切丁場を国や府と協議のうえ文化財として指定すべきではないですか。